

## よくある質問 Q & A



**Q-1** 昨年の採用試験の受験者数や倍率を教えてください。

A-1 昨年の9月に実施した採用試験の結果は下表のとおりです。

9月試験														
区分		採用予定 人数	筆記 受験者			1次試験(筆記) 合格者			1次 倍率	最終面接 合格者			採用	合格 倍率
			男	女	計	男	女	計		男	女	計		
一般事務職	上級	20名程度	72	25	97	48	19	67	1.4	11	10	21	20	4.6
	中級		2	3	5	2	2	4	1.3	0	1	1	1	5.0
	初級		7	7	14	4	4	8	1.8	0	2	2	1	7.0
身体障がい者	上級	1名	1	0	1	1	0	1	1.0	-	-	-		
	中級		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	初級		1	0	1	-	-	-	-	-	-	-		
保育士	上級	若干名	1	3	4	1	3	4	1.0	0	1	1	1	4.0
	中級		0	5	5	0	5	5	1.0	0	2	2	2	2.5
	初級		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
保健師	上級	若干名	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-		
	中級		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	初級		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
建築基準適合判定資格者		1名	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-		
計			84	43	127	56	33	89	1.4	11	16	27	25	4.7
7月試験(土木)														
区分		採用予定 人数	受験者			1次試験(筆記) 合格者			1次 倍率	最終面接試験 合格者			採用	合格 倍率
			職種別	男	女	計	男	女		計	男	女		
一般技術職(土木)	上級	2	4	0	4	3	0	3	1.3	2	0	2	2	2.0
	初級		1	1	2	0	1	1	2.0	0	1	1		2.0

**Q-2** 職員の男女別の人数はどうなっていますか。

A-2 平成30年4月1日現在の職員数は、693人です。このうち、女性職員は308人(44.4%)、男性職員は385人(55.6%)です。

30歳以下の若手職員で見ると、女性が57.3%、男性が42.7%と女性の占める割合が高くなっています。

**Q-3** 新規採用時の配属先は、どのように決まりますか。

A-3 一般事務職の新規採用職員は、採用試験申込書やエントリーシート、面接試験で聞き取った内容などを参考にしますが、基本的には市民の方と接する機会の多い窓口業務を行っている部署へ配置します。専門職(保育士・保健師)は保有する資格等により関連の部署へ配置します。

※ 保育士の配属先は市内8か所の保育所

※ 保健師の配属先は、健康づくり課、福祉課、長寿いきがい課等

**Q-4** 採用後の配属部署の異動の周期や方法はどのように決まっていますか。

A-4 人事異動は、概ね4～5年を基本とし、性質の異なる職場を組織運営に支障のない範囲で配置替えをしながら人材育成を図るための「ジョブローテーション」を実施します。なお、毎年12月に全職員に自己申告書を提出して頂き、異動等の希望を聴取し人事配置等の参考にしています。